

シャンプーのおはなし



シャンプーって気持ちいいね！

シャンプーをすることで…

- ・皮膚、被毛を清潔に保つ
- ・フケや微生物、アレルゲンを除去
- ・悪臭を軽減
- ・からだの異常の早期発見

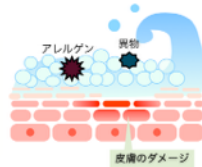
わんちゃんと家族の
快適な生活のために…

定期的にシャンプーをしてあげましょう

皮膚病や心疾患をもっているわんちゃんは
病院でのシャンプーをおすすめします

洗うことの重要性

皮膚病では**バリア機能**が低下し、
細菌、マラセチア、アレルゲンなどが
侵入してトラブルを起こす



皮膚を洗浄して、**バリア機能を改善**することが必要！

☆シャンプー療法（薬用シャンプー）の目的☆

洗浄成分

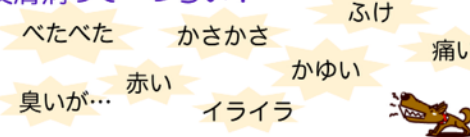
…異物や刺激物、フケ、皮脂を除去し皮膚表面を清潔にする
各種成分

…炎症・痒みの緩和、細菌・真菌の定着阻止、
ターンオーバー正常化、バリア機能の回復

シャンプー療法は、飼い主さんが協力できる
皮膚病治療です

皮膚疾患のシャンプー療法

皮膚病って…つらい！



掻痒性皮膚疾患（かゆい病気）の5大原因

- ・アトピー
- ・食物アレルギー
- ・外部寄生虫（ミ、ヒゼンダニ、ツメダニ、ミヒゼンダニ）
- ・マラセチア性皮膚炎
- ・ブドウ球菌性膿皮症

おうちでのシャンプー療法、困っていることはありませんか？

シャンプーする時間がとれないんです

全身シャンプーできないときは、症状の出ている
部分を洗うだけでもOK。
病院でのシャンプーもできますので、ご利用下さい☆

本洗いで10分間待っているのがつらい…

- ・症状の出ている部分から洗い始めましょう
- ・ごほうびをあげながら楽しくシャンプーしましょう
- ・浴室は暖かくしておきましょう

シャンプーを確実に出来ているのか心配…

患部の毛を短くして成分が届きやすくするのも
ひとつの手です。
全身くまなく見てあげられるシャンプーは、
その他の異常の発見や、治療の効果を感じられ
るチャンスです☆

どのシャンプーを選んでよいのか分からない

皮膚の症状や目的にあわせてたくさんの種類の
シャンプーがありますので、診察を受けてご相談下さい

シャンプー療法の方法

ステップ①
準備

- ・冬期なら、浴室をシャワーのお湯であたためておく
- ・やさしくブラッシング
- ・毛玉を切っておく



ステップ②
からだを濡らす

- 5分間を目安にしっかり濡らします
(角質に水を含ませる ←シャンプーの成分をより浸透させるため)

☆ポイント☆
お湯の温度は30°C以下
温度が高いと乾燥や痒みの原因に。

ステップ③
プレシャンプー

- 汚れを落とす（本洗いのシャンプーをしやすくする）
- ・からだ全体をやさしくマッサージするように
- ・爪を立てないように

ステップ④
本シャンプー

- 薬用成分を皮膚に密着させ、角質にまで浸透させる
- ・症状が出ているところから洗い始める
- ・シワや指の間までシャンプーが行き届くように

シャンプー使用量のめやす
短毛：2mL/kg
長毛：3mL/kg
ex.体重5kgのダックス（ロング）→15mL



シャンプーをなじませてから
10分間、放置
じっくり成分を浸透させます
※使用するシャンプーにより異なります

ステップ⑤
すすぎ

- 余分な成分や汚れを除去する
- ・時間をかけて十分にすすぐ
- ・シワや指の間は特に丹念に



ステップ⑥
保湿

- コンディショナーでシャンプー後の乾燥を予防
- 特に皮脂を落とす力の強い角質溶解性シャンプーを用いたときは
コンディショナーの併用が重要

ステップ⑦
タオルドライ

- ・ごしごしこすらない、とんとんとタオルの上からたたくように
- ・ドライヤーを併用するときは、冷風で身体から離して

ときわ動物病院

〒596-0823 大阪府岸和田市下松町3-4-1

☎072-493-6710